

普及活動情勢報告（令和４年１１月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

猿が寄りつかない果樹の剪定指導

・・・藤ノ川地区猿対策環境整備・・・



11月8日、四万十市西土佐藤ノ川地区で猿対策のための環境整備作業を行い、地区住民4名、関係機関10名が参加しました。

作業は猿を集落に誘引する藪や柿などの伐採、放任果樹の剪定などを複数のグループに分かれて行いました。農業改良普及課は、高木化した柿の切り下げ剪定指導を行いました。

12月には捕獲檻設置を予定しており、農業改良普及課は捕獲檻の管理体制について情報提供し、地域の猿対策を支援していきます。

広域連携組織が法人化・・・土佐清水市

一般社団法人とさしみずファームス設立総会・・・



10月21日、土佐清水市役所で市内の4集落営農組織（（農）ふぁー夢宗呂川、（農）三崎、（農）かぐみ、斧積営農組合）が社員となった「一般社団法人とさしみずファームス」の設立総会が開催され、組織関係者12名、関係機関5名が参加しました。

総会では、定款等の議案が全て承認され、ドローン防除だけでなく、資材の共同購入等に取り組むことが決定しました。

農業改良普及課は、令和2年12月に設立した「広域連携組織土佐清水市営農推進協議会」の法人化に向け、組織形態や運営方法について情報提供を行ってきました。

今後は、広域連携法人の幅広い活動支援を行い、幡多管内の先進モデルとして支援していきます。

サポートハウスの先進事例を勉強しよう！・・・幡多地域新規就農者支援ネットワーク協議会・・・



10月27日、幡多農業振興センターで、令和4年度幡多地域新規就農者支援ネットワーク協議会が開催され、幡多管内の市町村や農業公社、JAを含む関係機関職員30名が参加しました。

会では、安芸市・室戸市とリモートで繋ぎ、研修生が卒業後に栽培を行う、サポートハウスの設立・運営等について説明を受け、その後意見交換を行いました。参加者からは、サポートハウスの運営状況などの質問が多数あり、活発な意見交換を行うことができました。

農業改良普及課は、今後も他市町村の先進事例等を参考にしながら、新規就農者の確保・育成に取り組んでいきます。

集落営農の広域化を目指して！ ・ ・ ・ 四万十市中村地区集落営農組織連絡協議会 ・ ・ ・

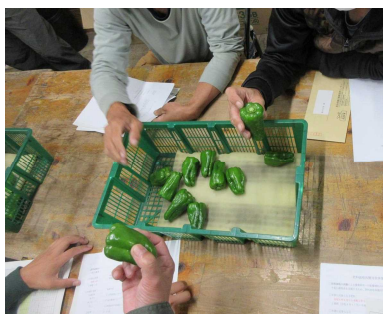


10月20日、四万十市役所で集落営農組織連絡協議会が開催され、中村地区の集落営農組織の役員11名と、関係機関6名が参加しました。

会では、市役所から四万十市の集落営農組織の現状と課題について、農業改良普及課からは集落営農組織の広域連携の必要性とその取組内容について説明しました。参加者からは、「広域連携を進めるためにも協議の場が必要」、「ドローンを共同利用したい」という意見が出ました。

農業改良普及課は、引き続き関係者と協議を行い、四万十市で広域連携の実現に向けて支援していきます。

GAP・農福連携を発展させていこう！ ・ ・ ・ 施設ピーマン目慣らし会 ・ ・ ・



11月1日、JA高知県中村集出荷場でピーマン目慣らし会を開催し、施設ピーマン生産者7名、関係機関5名が参加しました。

JAからは農家がしっかりと選果作業を行えるように、規格や注意点などの説明を行い、農業改良普及課からは、出荷量の自己集計や労働安全、GAP、農福連携について情報提供を行いました。GAPについては、農薬の適正管理が部会の取組目標になりました。また、労働力確保に関心のある生産者からは、「農福連携のピーマン現地検討会は現場だけでも参加したい」という積極的な意見も聞かれました。

農業改良普及課は、今後も巡回や現地検討会などを行い、幡多ピーマン産地の発展に向けて支援していきます。

部会員の意識統一を！ ・ ・ ・ 令和4園芸年度 にら部会定例総会 ・ ・ ・



10月25日、JA高知県佐賀支所で、令和4園芸年度のにら部会定例総会が開催され、生産者25名、関係機関8名が参加しました。

総会では、JAから販売実績、現在四万十町で建設中の出荷場に関する今後の動きについて報告があり、抽苔株の出荷方法についての協議がありました。

農業改良普及課からは、GAP、農作業事故、ネギアザミウマ薬剤感受性検定結果について情報提供を行い、ニラ部会員の実践活動に向けた意識啓発を行いました。

農業改良普及課では引き続き、ニラの増収・品質向上に向けて支援していきます。

まずは友達作りから！

・・・若い女性農業者の交流会・・・



10月20日、農業改良普及課の主催で若い女性農業者の交流会を開催し、キュウリ農家5名、イチゴ・クリ農家1名が参加しました。

農業改良普及課は女性農業者の友達作りを目指して、リラックスした環境で自由に話し、その中から課題を拾い上げる形で、会を進行しました。会では、県外からの就農経緯やSAWACHIの活用、収穫ロボット、鳥獣被害、子育てや家事の役割分担、栽培や労力の投入などと内容が多岐にわたり、参加者からは「次もやりましょう」と、次回に繋がる場づくりが出来ました。

農業改良普及課は管内の女性リーダー育成を目指して、今後も若い女性農業者が活躍できる場づくりを支援していきます。